

スローガン

「今、この瞬間を満たす～すべての答えは自分の中に～」

「前へ！」

【はじめに】

2023年度は「今、この瞬間を満たす～すべての答えは自分の中に～」をスローガンに定め運動をスタートしました。今という時間、自分という個人の、一番身近な所を見つめ直し、未来や未来の当事者に運動の波を広げて行くべく事業を展開してまいりました。

年度の途中で理事長が交代したことに伴い、スローガンを「前へ！」に変更し、青年会議所運動を留めることなく、少しでも前進させていくという覚悟のもと、運動を推進してまいりました。大きな変化の中にありながら変わらずに、運動を前へと進めて頂いたメンバーの皆様に感謝いたします。

近年はVUCA(Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性)時代とも呼ばれるように想定外の出来事が多く起こる、まさに予測不可能な時代の中におります。予測不可能な時代においては、様々な出来事に対処できる、様々な知恵や能力が必要とされます。つまりは多様性や柔軟性を求められる時代と言えます。

2023年度の運動においては浦安青年会議所として多様性や柔軟性を発揮できた一年となりました。力を発揮して頂いたメンバーの皆様のご努力に経緯を表したいと思えます。また、各事業において多大なるご支援とご協力をいただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

【持続可能なまちづくり】

不確実性の高い時代においては、目の前の課題に対し柔軟に対応できる人財が求められます。そのような人財が増え、主体的にまちづくりに関わってくれば将来にわたってより良いまちづくりが続いていきます。2023年度は将来に渡ってまちづくりの中心となってくれる人財を育成し、そこから周りの住民へとまちづくりの輪を広げていく事業を行いました。まちづくり委員会に担当して頂いた「うらやすドリームクエスト～わたしたちのまち未来発見地図～」では、特に未来のまちづくりに主体性を発揮して頂きたい子どもたちを中心に、まちの課題や可能性を再発見して頂くフィールドワークを行い、それぞれに気付いたことを発表して頂きました。また、後日話し合いの内容をまとめた報告書を携え市長に訪問し、報告いたしました。

事業に参加された子どもたちは非常に積極的であり、私にとって頼もしく感じられました。まちづくりの第一歩目となる、どのようなまちが理想のまちであるのか、自分の住みたいまちはどんなものかを具体的に想像する作業は、柔軟な発想のできる子どもたちにとって得意な作業であり、その発想は周りの大人たちも見習うべきものがあります。そして、理想を実際に自分の住んでいるまちに落とし込んでいくという作業は、夢を夢だけに終わらせないというまちづくりの推進力になります。この事業においてその二つの経験を得た子どもたちは、この先もまちに思いを馳せてくれるでしょうし、まちをより良くする活動に参加することで周囲の人たちにも影響を与え続けてくれるでしょう。

【自主性ある人づくり】

世界的課題に、より主体的に取り組む人財となるためには、課題を自分事として捉えて頂く必要があります。そのためには、世界の中で様々な課題を抱える人々と交流し、当事者意識を共有する必要があります。そして、世界の人と交流する際にはまず自国の文化を知る必要があります。

その思いから、青少年委員会を中心として第35回目となる「わんぱく相撲うらやす場所」を開催し、小学生を対象に日本の良さである礼儀と礼節を学んで頂く事業を開催いたしました。そのうえで「異文化交流フェスティバルin浦安」においては、まさに祖国が戦争の渦中にあるウクライナの方々をお招きし、交流を通じてウクライナの文化や現状を知る機会を提供いたしました。同時に、ミャンマーのクーデターを体験し、中学生ながらもJCIグローバルユース国連大使となり、その体験からの学びを伝えている野中君にもミャンマーの現状や文化についてご講演頂きました。

世界には自分と同時代を生きながら自分の持つ常識や価値観の外で暮らしてる人たちがいるという発見は、自分の視野を飛躍的に広げてくれたことと思います。私たちは世界の中の一部であり、世界中に存在する課題は決して他人事ではありません。その気付きこそ主体的に課題解決に向けて行動する第一歩となってくれることと信じております。

【誰一人取り残さない組織づくり】

2023年は新型コロナウイルス感染症への警戒を本格的に緩和する初年度にあたり、新しい生活様式とコロナ禍以前の生活様式との融合を図る年でありました。ここ数年の活動と比べて、対面での事業や会議を増やしました。浦安青年会議所の運営として最重要と位置付けられる総会も、近年は完全オンライン開催や、感染対策を講じた実地とオンラインのハイブリッド開催であったところから、2023年においてはメンバーが一同に対面により顔を合わせるかつての形式により開催いたしました。

そんな中、近年の入会者の中には活動のペースを掴めない方が出てくるのではないかと危惧から、総務委員会にはメンバーがお互いを認め合い、誰もが活躍できる風土づくりに挑んで頂きました。中でも2023年度に取り入れた「サンクスカード」の試みは好評でした。普段面と向かっては言えない感謝の気持ちや伝える機会が少なかった仲間への尊敬の想いをカードに託し送り合いました。

メンバーの属性が多様化する中で、自分の出来る範囲で会に貢献するので構わないというスタンスをメンバーの皆様にご体感いただける機会となったと感じております。多様性を尊重する組織として、会議や事業を行うにあたって心理的安全性を確保しながら十分に個性を発揮するためには、互いを尊重し合う風土が必要と考えます。2023年の総務委員会による取り組みはその風土を醸成するのに一役を買ってくれました。

【求心力のあるコンテンツ】

新型コロナウイルス感染症による行動制限は市民間での交流の場を奪っていきました。浦安青年会議所としては少しでもその交流を取り戻そうと事業を行ってまいりましたが、制限が本格的に緩和された2023年度においてはより多くの方々を巻き込んだ交流の機会を提供することが出来ると考えました。そのために求心力のあるコンテンツとしてスポーツの力をかりた交流事業の開催を想定し、メンバー全員が企画から運営に関わるスポーツの祭典特別委員会を立ち上げました。

地域資源たるスポーツチームやアスリートのカモお借りして「ウラヤススポーツDAY」と題したスポーツを通じた市民交流事業を計画いたしました。残念ながら第一弾として企画した「地域対抗

綱引き大会」は荒天により中止とせざるを得ませんでした。第二弾として企画した「アスリートと楽しむ、感じる、応援する」においては約1000名の市民の方のご参加を頂き、交流することができました。

参加者の皆様の笑顔を見られたとき、まさに今市民の皆さまが期待していたオンラインを介さない対面による交流とはこの事業であったと感じることが出来ました。市民の皆様が心一つにして、一体感を感じられる求心力のあるコンテンツを見つけ提供することこそが浦安青年会議所に課された使命であると感じました。今後とも継続して、市民の皆様にとって魅力ある事業を提供していきたいという気持ちを新たにいたしました。

【まずは自分たちが楽しく元気に】

多くの人を巻き込む魅力的な事業を行うには、まずそのリーダーとなる私たち浦安青年会議所メンバーが元気で、運動を楽しんでいることを発信し、周りの方にもご理解頂く必要があると考えます。

そのために、交流委員会に中心となって頂き「新年例会」を開催し、市内の他団体の方に浦安青年会議所の元気を見せる事業を行いました。実に3年ぶりとなる来賓の方をお招きした新年例会となりました。また、OB・OG諸兄弟と結びつきを強めるために「ファイナル例会および卒業式」を開催いたしました。昨年までのコロナ対策も解かれ、沢山のOB・OGの皆様にご参加いただくことが出来ました。

7月に計画しておりましたOB・OGの皆様と親睦を深める機会も直前に取りやめていたため、例年にも増して結びつきを強める設えとしていただいたことに感謝したいと思います。入会間もないメンバーにとってOB・OGの皆様顔に顔を覚えて頂き、言葉を交わす機会を提供することは、浦安青年会議所の歴史を学ぶのに重要です。また、浦安青年会議所が組織としてこの先も先輩諸兄弟のご協力を得ながら持続可能な仕組みで存続していくためにも必要なことです。2023年においてもそのような機会の提供を継続できたことを喜びたいと思います。

【むすびに】

浦安青年会議所は43年間にも渡る期間、浦安地域を少しでもより良い社会にすべく活動して参りました。その運動を留めることなく前へ進めていくためには青年会議所メンバーの覚悟と行動力が必要です。メンバーが一丸となって運動に取り組むには、進むべき方向を示す指標が必要です。覚悟と行動によって進むべき方向を示せる人物がリーダー一足り得る人財であると考えます。私とそのリーダーの条件を十分に満たせていたかについては自分では判断の難しいところがありますが、覚悟を持った一つのリーダーの形は示せたのではないかと自負しております。

しかしながら、2023年度浦安青年会議所の運動を無事全うすることが出来たのは、ご支援とご協力を頂いた関係諸団体の皆さま、OB・OGのお力添えのお陰であり、事業にご参加頂いた市民の皆様のお陰であり、そして何より、伴に主体的に行動してくれたメンバーの皆様のお陰であります。改めて感謝の意を表したいと思います。誠にありがとうございました。

青年会議所運動を続けることで、昨日より今日が、今日より明日が、より前へと進んだ社会に出来るはずだと信じております。2024年度も柳理事長体制の下、メンバーの皆さままで作り上げる事業が、浦安地域をより明るい豊かな社会へと導いて下さいますことをお祈り申し上げます。

